

第7次環境取組みプラン(2021年度～2025年度)

TG2050環境チャレンジ、2030年マイルストーンの実現に向け、2025年度に向けた活動目標となる「第7次環境取組みプラン」を策定しました。

テーマ

実施事項と目標

脱炭素社会の構築

◆CO₂排出量の削減

<製品ライフサイクル全体でのCO₂削減>

・BEV、FCEV等の電動車向け製品の開発

・車両の燃費、電費向上につながる製品の軽量化、LED応用製品の設計・開発

・材料・部品メーカーと連携した環境に配慮した製品開発

・組付けしやすく、解体しやすい製品設計

<工場CO₂削減>

・工場でのムダの徹底的な排除による日常改善

・設備の高効率化の推進(ユーティリティ・空調設備更新など)

・革新工法、工程の開発・導入

・再生可能エネルギーの導入・拡大

<新技術の開発>

・CO₂回収、エネルギー利用などの開発・導入検討

【工場CO₂排出量・再生可能エネルギー導入率】

	項目	2025年度目標	〈参考〉2030年度目標	TG2050環境チャレンジ
グローバル連結	CO ₂ 排出量	'15年度比25%減	'13年度比50%減	カーボンニュートラル
	再エネ導入率	12%	20%	100%
豊田合成(株)	CO ₂ 排出量	'15年度比25%減	'13年度比50%減	カーボンニュートラル
	再エネ導入率	20%	50%	100%

<物流>

輸送効率等によるCO₂排出量の削減

	項目	2025年度目標	〈参考〉2030年度目標
豊田合成(株)	CO ₂ 原単位	'15年度比10%減	'15年度比15%減

◆温室効果ガス(6ガス)排出量の削減

マグネシウム、LED製造用ガスの代替化の推進

	項目	2025年度目標
豊田合成(株)	6ガス排出量	現状維持

循環型社会の構築

◆廃棄物の低減

<製品>

・資源の有効活用に向けたリサイクルしやすい製品設計と技術開発

・軽量化による原材料の低減

<工場>

・歩留り向上による発生源対策

・端材・廃材の極小化に向けた廃棄物低減プロジェクトの活動

・ゴム、樹脂などのリサイクルの推進

・海外での埋め立て廃棄物ゼロ化の推進

	項目	2025年度目標	〈参考〉2030年度目標	TG2050環境チャレンジ
豊田合成(株)	廃棄物量	'12年度比40%減	'12年度比50%減	極小化
海外関係会社	売上高当り廃棄物量	'15年度比50%減	'15年度比55%減	

<物流>

・梱包・包装仕様の見直しによる梱包材の低減

・自然由来の材料使用やリサイクル材を使用した梱包材の活用

テーマ

循環型社会の構築

◆水リスクの低減

・水リスクの見える化とロスの改善

・排水のリサイクルなどによる使用量の低減

・排水処理施設の設置などによるきれいな水の排水

	項目	2025年度目標	〈参考〉2030年度目標	TG2050環境チャレンジ
リスクが高いエリア	水質	2拠点で対策完了	4拠点で対策完了	水リスク極小化
	取水量	3拠点で対策完了	7拠点で対策完了	
リスクが低いエリア	売上高当り取水量	'19年度比6%減	'19年度比11%減	

◆環境負荷物質の管理・低減

・グローバル管理の推進

◆VOC低減

・塗料、洗浄シンナーの代替化

・新工法や工法見直しによる使用量の適正化と使用量低減

	項目	2025年度目標	〈参考〉2030年度目標
豊田合成(株)	売上高当りVOC排出量	現状維持	現状維持

◆排ガス低減

・低排出ガスの導入

◆生物多様性の実現に向けた自然共生活動の推進

・豊田合成グループでの里山保全、ビオトープ設置、干潟の保全などの推進

・行政、NPO、トヨタグループと連携した活動

・「みどりのノーネットロス」活動の推進

	項目	2025年度目標	〈参考〉2030年度目標	TG2050環境チャレンジ
グローバル連結	活動回数	自然共生活動の実施(1件以上/年)		
豊田合成(株)	緑の復元面積	'19年度比+18%復元	'19年度比+35%復元	100%復元

◆地域への環境貢献

・環境活動を通じた地域行政との連携と貢献

・学生・児童等への環境教育の実施

◆社会貢献活動の推進と関連組織への支援

・グローバル一斉清掃などによる地域美化活動

・関連組織への支援(白川郷自然学園、生物多様性民間パートナーシップ、尾張西部生態系ネットワーク)

◆連携環境マネジメントの推進

・グローバル連結環境マネジメントの充実

・順法管理・環境異常の未然防止活動の推進

・環境負荷低減活動の推進

◆ビジネスパートナーとの連携した環境活動の推進

・材料・部品メーカーなどのサプライヤーと連携した環境活動の推進

・サプライヤーにおける環境関連法令の遵守と環境パフォーマンス向上の推進

◆グローバル社員教育・啓発活動の推進

・体系的な環境教育の実施

・従業員の環境意識の向上活動の推進

・社内報等による従業員への情報発信と啓発活動の推進

◆社外への環境情報の発信とエンゲージメントの推進

・統合報告書等による情報開示

・メディア、NGO、行政の環境調査による情報開示

・ステークホルダーとのエンゲージメント実施

◆外郭団体との協働による環境活動の推進

・日本自動車部品工業会、日本ゴム工業会などの環境活動への参画と支援

環境保全と自然共生社会の構築

環境マネジメント